



西南学院大学・

図書館報

読書の秋特集 佐渡谷重信・野藤忠・

杉野哲谷・水口雅夫・延命紀美秀・

茂木真理子……………2~4

バスク地方の言語と文化 小熊和郎……………5

図書の検索——利用者が端末機で……………6

レファレンス・シリーズ……………7

新着図書紹介……………8



factfindingの重要性

経済学部教授 遠山 馨

梅雨の季節に豪雨があり、福岡、佐賀、大分、熊本の各県に大水害が発生したことがあった。最近、福岡県は雨が少なく、台風もさけるといった気象が続いていることに慣れた私達にとっては、信じられないような事件であった。昭和28年6月のことである。福岡県では筑後川と矢部川、佐賀県では嘉瀬川、熊本県では白川が氾濫を引き起こした。その結果、農地は荒廃し、熊本市の商店街は大きな損害を受けた。

この水害は中央の政治でも取り上げられ大問題となった。当時の有力な雑誌『改造』はこの問題を取り上げ、九大経済学部の田中定教授に調査を依頼した。田中教授は自分の授業に出ていた大学院1年の学生6名を使ってこの調査に当たることになった。現在本学の経済学部農業政策担当の原田三喜雄君もその一人であった。

私はこの調査で熊本県を受け持った。これが初めて経験した調査活動であった。調査結果は翌年の新年号の『改造』に掲載された。自分の名前が中央の雑誌に出ているのを見て、晴れがましい気分を味わったものである。この調査に続いて遠賀川流域の農村調査にも参加した。

これらの調査は私にとって、実は苦痛であった。調査には多くの時間と手間を必要とした。苦勞して得られた情報や知識は、それに値するほど大きな価値をもっているように思われなかった。たとえば調査に必要な1か月の期間を、理論に関する良書を読むことに当てることができるとしたら、どんなに有益で成果が大きいことかと考え、心はあせっていた。青年時代には、

1日1日が自分の心を成長させ高めていくことを実感することができたからである。

しかしこの調査は結果的には、私の心に決定的な影響を与えた。戦後の大改革の一つ、農地改革が完了して間もない時期であった。農地改革の評価については、意見が大きく分かれていた。最近では、農地改革を戦後日本経済の発展の条件として、その意義を高く評価する意見が支配的である。しかし農地改革後の新しい現実を前にして、当時はさまざまな観念や過去の亡霊に捕われた意見が横行していた。それらの意見は書物となって読書人の心に迫った。

私達はこれらの本を読み、青年の客気からかれてあてもない、こうでもないと議論しあっていた。田中教授は私達の議論を聞いてにこにこ笑っていた。本を読んで本を書く教授が多いなかであって、田中教授は佐賀県農業の実態調査によって独自の学説をつくりあげた人であった。優しい人柄であったが、豪傑であった。

農業問題とは農村の封建制とその下で苦しむ農民の貧しさであった。これは戦前から引き継いだ問題意識であった。しかし田中教授の指導のもとに行われた調査が進むに連れて、私達ももっていた観念は幻のように消え去り、心は自由になった。いま私達の前に広がっている現実こそ若い人達に与えられた学問の問題である。学問の研究は若者が自分の問題をしっかりと自覚するところから始まる。調査は私にすばらしい教訓を与えた。

事実を知ろう。そして事実によって語れ！

読書の秋特集

活字は思想の眼である

文学部教授 佐渡谷 重信

学生諸君は何のために読書するのかについて深く考えたことがあるだろうか？ ただ漫然と読んでも、内容はおろか、眼前にある活字の存在も、活字が語りかけようとする思想も掴み取ることは出来ない。「読む」という行為は内容を知るだけではなく、内容を仮想体験することによって日常性の中に還元して行く作業なのである。書物の内容は、それが文学作品であろうと、社会科学系の書物であろうと、活字の中には一字一句、生命力がみなぎっている。活字は思想の眼である。活字は書き手による魂である。諸君が活字を読む以上に、活字の眼が読者を「読んでいる」ことを忘れてはならない。

私も何冊かの本を世に送り出しているが、著者というものは読者の知を高め、世を益そうなどと考えない。書かねばならぬという何か情熱が筆を走らすのみであり、娘を嫁に出す心情であるが、読者にどう歓迎されようと、無視されようと関知しない。一冊の書物は長短を兼ねた一個の「人格」である。そうであれば、読者が自分の良識によって「人格」を入手すればよい。もし諸君が著者の人間性にふれたいと思えば、進んで手紙を書き、人生の先輩として交際することをすすめる。読書とは知を書物から求めると同時に、その著者との精神的紐帯を求め続ける無限の旅である。故に一年間最低50冊以上読まぬ者は現代の学生として恥である。「只読書自栄 不読自墜落」。

学生時代の読書の思い出

商学部教授 野 藤 忠

私の学生時代は大学紛争などで騒然とした世相でしたが、暇をみつけては本学の図書館に通って、いろいろな本を興味のおもむくままに読みました。専門書は読むのがたいへんでしたから、どちらかといえば随筆などをよく読みました。そのなかでも、岡潔さん『春宵十話』、『紫の火花』、『春風夏雨』などの本を読んだことがなつかしく思い出されます。

岡潔さんは奈良女子大学教授で数学の大家でしたが、数学の研究をされるなかで日ごろ思索されてきたことを随筆の形で昭和30年代の終わりごろから出版され始めたのです。そのような著作のなかで、次のような意味のことを言われていたのを印象深く覚えています。つまり、自分の身体や感情や意欲を自分と思っていることが小我であり、ほとんどの人は小我を自分と思っている。しかし、小我は無明（自己中心の本能）の描く迷いであるから、これを離れて真我（本当の自分）に帰らなければならない。そのためにも、情緒を養い、人の感情のわかる思いやりのある心を育てる教育が大切であり、大脳前頭葉の発育をよくしなければならぬ、ということでした。

今は社会に貢献することを目ざす経営思想の勉強をしていますが、岡潔さんのお話が心の片隅に残っているのでしょう。そのお話が知らないうちに考えるヒントになり、企業の経営活動を見ていく場合の自分なりの一つの指針となっているような気がします。人はそのときどきに状況を判断し、意思決定し、行動していくわけですが、心のもち方によってさまざまな人生模様が展開されます。できることなら心静かに暮らしていきたいものです。

—読んでほしいこの本たち—

ものの考え方を 身につけるために

教務課 杉 野 哲 谷

現在、新聞、テレビ、雑誌、本などから毎日様々の情報が私達に提供されています。その中から自分の関心、興味に応じて情報を収集・整理・活用しながら我々は生活しています。情報をいかに受け取り、いかに生かすか、これは人それぞれいろいろな方法があるかと思います。学校では各科目ごとに、それぞれの方法によって真理を探求しています。

古人の考え方よりも現在生きている人の中から、はっきりとした考え方の基準を示し、それを基に活躍している人を選んで行くと、私には「小室直樹」なる人物が浮んで来ます。この人は、昭和7年東京生れ、京大理学部数学科卒、阪大大学院経済学研究科中退、東大大学院法学政治学研究科修了、マサチューセッツ工科大、ミシガン大、ハーバード大に留学、昭和47年東大から法学博士号を授与されるという博学多才な人物です。

お勧めしたい本は氏の考え方の基準を示すものとして「超常識の方法—頭のゴミが取れる数学発想の使い方」(祥伝社)であり、その具体的な活用書として「消費税の呪い」(光文社)を挙げたいと思います。前者は、「数学の理論」こそ論理的発想の基本であるとして、集合論、必要条件と十分条件、非ユークリッド幾何学などを判りやすく説明し、人類がいかに苦心惨澹して近代科学の方法論を生み出して来たかを説明しています。後者は前者の方法論を実際に使用した場合の事例研究の様なものですが、誰もが関心を持つであろう判りやすいものを選んでみました。マスコミの考え方と一味違う、土台がしっかりした説得力ある分析はきっと参考になると思います。

分類、著者名、書名、件名などの情報検索の

ツール(道具)の他に、考え方のツールを身に付ける事は、これからの人生を生きて行く上で強力な武器になってくれるものと思います。

本との出会い

大学院経営学研究科 水 口 雅 夫
研究生

人生の節々で影響をうけた図書をもっていることは、幸せなことにちがいない。それは、落ち込んだ自分を取り戻すのに某かの役にたつかも知れない。

自分に大きな影響を与えた本は、むろん私にも、いくつかある。しかし、本当に自分を見失ったときは、何かを読もうとする気力さえ萎えてしまっている。そんなときの自分を救ってくれるものは、そうめったにあるものではないし、もしかするとないのかもしれない。

そもそも人は何を求めて読書するだろうか。本を読みたいと思うとき、人は何か実際の疑問や問題をかかえているかもしれないし、現実の自分とありうべき自分との間を、読書によって得られるもので埋めようとしているのかもしれない。むろん読書それ自体が目的であったとしても、何も悪いことはない。

実際、ものを考えるヒントになったり、自分がぼんやり考えていたことを如実に示したうえで、さらにそれを一歩推し進めてくれたりしたのは、直接的に何かを調べようとして読んでいた文章ではなかったという例は少なくはないし、何気なく手にした文章や図書が、自分の知らなかった世界を覗かせてくれる場合だってある。

このようにして、読書をする人の世界は広がっていく。もしかするとその世界は、他人の経験に基づくものでしかないし、場合によっては全くの想像ないしは空想の産物かもしれないが、自分を励まし、豊かにしてくれるだろう。

では、そういう世界をもたらせてくれる図書に出会うには、一体何が必要なのだろうか。

「アメリカン・ビート」

ボブ・グリーン著 井上一馬訳

文学部英文学科4年 延 命 記 美 秀

「一分間なら会うのに時間を割けるんだが。」受話器の向こうでボブ・グリーンは言った。その時私はシカゴ・トリビュン・タワーの隣のビルディング地下にいた。訪れたオフィスで出会った彼は、その簡潔な文体がいつも感じさせる人間的な優しさを持つ思い描いたとおりの人物であった。1989年10月19日の昼さがりのことだった。

この原稿を依頼された時、咄嗟先の経験が私の記憶の中に甦った。私は彼との最初の出会いを思い出した。アメリカン・ビート。数年前、書店でタイトルに魅かれ偶然手にしたこの一冊で、私はそのアメリカを代表するコラムニストと出会った。映画と音楽を通してあこがれを抱き続けてきたアメリカ。当時、私は本を読むことによって未だ見ぬその国へ思いを馳せた。アメリカン・ビートに収録された34編のコラムは、彼がアメリカ中足を運んで集めた事実である。そのコラムの一つ一つは、彼の言葉を借りれば「保存された大切な時。」であり私達の心に灯を点す熱いメッセージである。それらのコラムを読むことは私達はその時間と彼の感情を共有することを可能にする。コラムは、日常生活に密着した形で読まれており、そこに記された出来事は、アメリカの何気ない日常生活の断片である。私達にとってはほぼ地球上の反対側に住む人間といえど、全34編の中でとりあげられる出来事は、すべて私達の生活に重なるものがある。彼の飽くなき人間への興味と強い感受性は、その何気ない日常生活に光をあて、人間のすばらしさ、現実の残酷さを色あせることなく伝える。彼の綴る文章は、私達の心を揺さぶり、人間への興

味と過去に忘れてきた気持ちを呼び覚ます。

この一冊は、今、今日も息づいているアメリカの鼓動と彼の心暖まるメッセージを伝えてくれるはずだ。

ジュリアン・ソレル

—「赤 と 黒」—

法学部法律学科4年 茂 木 真 理 子

こんなにも小説の登場人物に魅せられたのは何年ぶりだろう。久しぶりだ。

「赤と黒」は、製材所の息子として生まれた貧しい青年ジュリアン・ソレルが、野望を胸に栄達の階段を登るそのなかばにして、恋のために破局を迎え、死に至る姿を描いている。

主人公、ジュリアンは魅力的な人物である。高いプライド、強い意志を持ち、大胆かつ繊細、冷静でいて時には情熱的に行動する。立身出世という野心を満たすために、厳格なまでに自らを律し、反省することを忘れない。その反面、自らの激情のままに行動し、破滅へと突き進んでしまう。しかし、どんな時でも彼は自分の感情に正直に行動しているだけだと思う。破局を迎えて少しも後悔するところがないのは、プライドを失うことなく、自分の意志を貫いたからだだろう。

この本を読んでいると、一日一日を唯流れていくが如く過ごしているのだろうか、人間は何かを懸命に追い求めることによって「生きる」のではないだろうかという気持ちになってくる。

困難な状況をいとわず、自分の目的に向かって邁進していく人間は強烈な光をはなっている。その強烈さが人を魅きつけるのだろう。この本は、そういうエネルギーを持った一人の青年の生き様を描いた小説である。

在外研究で1年間滞在したサン・セバスチャン (San Sebastián) は、スペイン北部、フランスとの国境から車で30分の距離にある。海岸が美しい人口14万のバスク地方の街だ。最近よく話題にのぼるバルセローナは地中海に面しているが、ここはピレネーの反対側、カンタブリア沿岸に位置している。バスクといい、バルセローナが中心のカタローニアといい、スペインとフランスにまたがり、独自の言語と地方文化をもつことで知られている。今回の在外研究では、遙か昔、現在のヨーロッパを支配しているインドヨーロッパ言語以前から存在していたバスク民族のことば(墓碑銘や古い地名に残る資料を除けば、文献的には16世紀にさかのぼるに過ぎないが、今でも60万人の人々が話している活力に溢れた言語なのだ)の習得、と彼らバスク人が今をどのように生き、何を求めているかの事情調査が目的だった。

その1年間、バスク自治政府(1979年に成立)の語学校に通った以外はもっぱら歩き、人と会い、話をする事で過ごした。といっても、何も「学術的な」会話をしたわけではない。知り合った人と、学校で習ったばかりのバスク語を使って、ごく気楽なよもやま話をしたに過ぎない。根気よく話の相手をしてくれたバスクの人々が「私の図書館」ということになるかもしれない。(そういうわけで、図書館も大学関係も知らないのです。図書館の方々、ゴメンナサイ)

そんな日々を過ごす内に、スペイン語と並びバスク語が公用語になっている南バスク(スペイン領)に限って言えば、Ikastola(バスク語による初等・中等教育制度)やEuskaltegi(成人のためのバスク語学校)、テレビやラジオなどのメディアを通じて統一バスク語が少しずつ浸透しつつある姿が見えてきた。バスク文化の表現を徹

底的に弾圧したフランコ将軍が1975年に死に、その後の民主化の流れの中で、Euskal Herrian, euskaraz(バスク地方に、バスク語を)という分離主義者の政治スローガンと軌を一にするものであるけれど、それ以上に、まだ決して多いとは言えないバスク語話者(現在、5人に1人)、話したい人の静かな意志が日常生活でも感じられてきた。時々挑発的に、こんな問いかけをしたこともある。何でこんな狭い地域にしか通用しない言葉を、あなたたちは一生懸命守ろうとするのか、間もなくヨーロッパが統合されようとしている今、政府も言語政策に予算を組むより、

他の国に遅れないようにもっと社会のコンピュータ化でも進めた方がいいのではないか。「では、あなたがた日本人は、何故、日本語というおそろしくむずかしい言葉を捨てて、中国語か英語を公用語にしないのですか。外国との交流ももっとしやすくなるでしょうに…」こういう言い方が皮肉に感じられるくらい日本人もバスク人も言葉に対する絶対的執着があるらしい。

残りの滞在日数も数えるほどになった頃、親しくしてくれた一家族が私共一家を招待してくれたことがあった。バスクラジオのアナウンサーをしている友人Tのおと

うさんは、レガスピアの鉄鋼所に勤める山登りが大好きな自然人である。と同時にまたバスク語に対する誇りとバスク語の未来に深い信念をもっている教養人だった。午後3時に始まった昼の宴が終わった後、東洋からバスク語の勉強に來た物好きな男のために即興のベルチョ(バスク伝統の歌われる詩句)をつくって披露してくれた。私はこういう形で Euskalduna(バスク語をもつ人=バスク人)になれと励ましてくれたことが嬉しかった。

《在外研究を終えて》

バスク地方の 言語と文化

文学部助教授 小 熊 和 郎

図書の検索

利用者が端末機で

平成元年度に図書館の業務が電算化されたことにより、この1年間に図書の発注、受入、目録作成、予算管理業務などいろいろな分野の業務が大幅に能率化されました。また、図書館の利用者に直接関係のある閲覧カウンターにおいても、すでにOMR（光学式マーク読取装置）を導入し、図書の貸出し、返却作業が迅速になったことは、ご承知のとおりです。

目録作成業務については、昨年4月以降受入れた図書全部と同期の製本雑誌及び過去10年間の図書を遡及入力し、その入力したデータの数には12万件を超えました。これらの目録データは従来の目録カードに代わるものとして、利用者みなさんに提供すべき情報であります。そのため本年9月、カウンター前に開放端末機を設置し、これによって検索していただくことになりました。また、今後の受入図書もすべて端末機による検索となります。

端末機でできるだけ多くの図書を検索できるよう、遡及入力に全力をつくしたいと思います。が、目下のところ、10年以前の図書については、従来どおり目録カードによって検索していただくことになります。

端末機での操作は、実際にディスプレイ（画面）を見ながら、キーを押下するほうが理解が早いものです。すでに、キーボードの前に座って検索をした人も多いと思いますが、初めての方のために簡単に操作方法を図示しました。最初はスムーズにいかないと思いますが、何度か体験すれば、検索の流れが理解でき、操作が容易になるでしょう。端末機での操作について不明のことがあれば、ご遠慮なくカウンターの係員にお尋ねください。

検索例

1. 書名からの検索

◎検索図書 「シェイクスピア研究」の場合

【ディスプレイ表示】

【内容及び動作】

画面
① LOOKS / U PF1 を押し、SESSION ENDED
の文字を消す
PF5 を押し、画面②をだす



画面
② 検索キーメニュー [1.書名ヨミ] からカタカナ入力
シェイクスピア ケンキユウと入力し
実行を押す



画面
③ ヒット件数 上の2語を含む図書の冊数が表示される
このまま実行を押す



画面
④ 書名一覧 ヒットした書名一覧が表示される。該当
図書が見つかったら処理選択 18(該当有)
と該当項番をテンキーで入力し、実行
を押す



画面
⑤ 書誌情報照会 該当図書の書名、著者名、出版社など書
誌情報が表示される
処理選択 30 (複本一覧)として実行を
押す



画面
⑥ 複本状況一覧 図書の請求記号、貸出し・返却の状況が
表示される
検索終了



画面
⑦ LOOKS / U PF1 を押し、タイトル画面①をだす
SESSION ENDED PF11 を押し、SESSION ENDED の表示
をだす



操作終了

検索を続けるときは、画面⑥で「処理選択 6」(メニュー)として実行を押し、画面②に戻る

2. その他の検索

著者名、分類番号、件名(CD、マイクロ、ビデオなど)からの検索も可能です。画面②「検索メニュー」に入力します

シリーズ

レファレンス・ブックの紹介

大学での学習、勉学では、それまでの中学・高校での勉強に比べ、自分の手でいろいろな資料を探す機会が増えてきます。膨大な資料を備えた図書館でただやみくもに探すだけでは、時間がかかるばかりで、結局目当てのものがみつからないということも多いようです。

図書館報では、利用者みなさんの資料検索の手助けのため、レファレンス事例を中心にその検索方法をシリーズとして掲載することにいたしました。

なお、自分で資料を探すことができない場合は、2階閲覧カウンターの係員にお気軽に相談ください。

参考図書の探し方

Q. 秋田地方の方言について調べたい。
何かいい参考資料はないか。

A. 「日本の参考図書」の中に、方言集一覧という項目がありますので、それを利用すると多くの参考図書が見い出せます。

「日本の参考図書 解説総覧
同編集委員会編 日本図書館協会(1980)」
(請求記号 028/0/4-2)

この資料は、明治以降1977年まで我国で出版された参考図書の中から、一般の図書館で有効利用されると思われるものを選んで、各主題別に収録された参考図書の内容を紹介した資料です。主題別に調査できるため、早く参考図書を選び出すためには、役に立ちます。

巻末には書名・事項索引があります。また、これ以降の収録分として「日本の参考図書四季版」がありますので、新しく参考図書を選び出すにはこれもあわせて利用してください。

Q. 洋書にも参考図書を探すツールはあるのですか。

A. Guide to Reference Books. 10th ed.
(E. T. Sheehy. Chicago, American Library Association, 1986) (請求記号 015/2/6B-2) という図書で調べることができます。

これは米国を中心に世界各国で1984年までに出版された参考図書を主題別に紹介したもので

す。収録されている図書の主題は、一般、人文科学、社会・行動科学、歴史・地域研究及び科学技術・医学関係のもので、各図書には簡単な内容説明がなされています。

また巻末に著编者、書名、件名から検索できる索引があります。この図書は本学にも所蔵していますので、自分が探している情報を効率よく調べるためにもぜひ活用してください。

この他に下記の図書でも調べることができます。

・ Guide to Reference Materials.

(A. J. Walford. London. The Library Associations 1970)

(請求記号 015/2/9-)

これは、英国の参考図書を重点に置いて、世界各国の参考図書を収録しています。

・ How to do Library Research. 2nd ed.

(Robert B. Downs. Urbana. University of Illinois Press, 1975)

(請求記号 015/2/13)

・ A world bibliography of bibliographies and of bibliographical catalogues, calendars, abstracts, digests, index, and the like……5vols. 4th ed.

(Theodors Besterman, Geneve, Societas Bibliographica., 1966)

(請求記号 025/0/2-)

新着図書紹介(一部)

(平成2年9月30日現在)

- ・知的トレーニングの技術(別冊宝島) 002.7.5
- ・コンピュータウイルス(ファイブ, F)
.....007.6.50
- ・1000万人のコンピュータ入門(秋富 勝)
.....007.6.55
- ・フィヒターシェリング往復書簡
(シェルト, W).....134.3F24.2
- ・インド神話(イオンズ, ヴェロニカ) 164.25.1
- ・カトリック倫理とプロテスタント倫理
(メール, ロジェ).....191.7.8
- ・古文諸字叢(根岸茂夫)210.02.19
- ・自民党長期政権の研究(カルダー, E)
.....312.1.204
- ・黒人の政治参加と第三世紀アメリカの出発
(中島和子)316.853.5
- ・日本の国際化(ライシャワー, E. O)
.....319.1.107
- ・議会・選挙・天皇制の憲法論(吉田喜明)
.....323.14.37
- ・流通V A Nの実際(浅野恭右) ...330.8.3-424
- ・パソコン計量経済学入門(吉野直行他)
.....331.19.331

- ・現代「資本論」論争(チュブレンコ, A. Yu)
.....331.6Ma59.6
- ・ザ・マネー(サンプソン, A)332.0.131
- ・E C「統合市場」のすべて(久保広正) 337.7.9
- ・全図解戦略参謀ノート(アーサー) ...336.1.22
- ・情報処理試験のための会計関連知識
(阿部錠輔他)336.919.1
- ・マネーゲームの時代(栗原るみ) ...338.12.12
- ・セクシャル・ハラスメントの社会学
(ベノクライティス).....367.253.15
- ・数学の美しさを体験しよう(サージ・L)
.....410.4.30
- ・絶滅の危機にたつ動物(ジョン・B) 480.79.2
- ・食卓の毒物(ジェームス・E)498.54.6
- ・ビデオレコーディングの話(高尾正敏)
.....547.88.1
- ・男だって子育て(広岡守穂)092.599.4
- ・J R企画開発室(伊勢暁史)686.3.3
- ・枕詞の秘密(李寧熙).....911.124.20
- ・恋愛論(柴門ふみ)914.6Sa.1
- ・地球を駆けぬけたカリフォルニア作家
(ラス・K)930.28L84.1
- ・悪魔の詩(サルマン・R)933.R88.2-1
- ・聖なる酔っぱらいの伝説(ヨーゼフ・R)
.....943.R74.1

報 告

《研究報告》

- 第8回 九州EC研究会 7.7 学術研究所
- ①児玉昌巳氏(純心女子短期大学)
「ECの市場統合とECエネルギー戦略
—電力・天然ガス部門のケースを通して—」
- ②山本和人氏(福岡大学)
「サッチャー政権下のイギリス貿易構造の変化」

《研修・出張》

- ◎私立大学図書館協会総大会 7.25~27
広島修道大学 田代、伊藤課長補佐
- ◎九州地区著作権講習会 9.6~7
佐賀市 丸田、江頭、香川司書補
- ◎私立大学図書館協会秋季西地区部会 10.5
愛知大学 坂口係長、佐藤司書

◎私立大学図書館協会西地区部会

九州地区研究会 10.19
福岡工業大学 川上、棚町、斎藤司書補◎全国図書館大会 10.24~26
静岡市 堤次長

《図書館委員会》

- ◎6.27 ①図書館増改築計画(案)について
②寄贈図書等の評価額算定基準改定
- ◎7.5 ①図書館の増改築について
- ◎7.20 ①図書館の増改築について

編 集 後 記

「文学と科学は、水とパンのようなものである(トルストイ)」学問だけでは人格的に疎んじられ、人がよいだけでは社会的に成長しない。知情意の調和ある人物となるためには、読書は欠かせない。(J)